

# 令和2年度事業報告

## 1. 概要（理事長：窪田 茂）

コロナウィルスの蔓延により、様々な活動が制限された一年となってしまいました。人の動きが制限され、人が集まることも出来ず、イベントを自粛せざるを得ませんでした。そんな中でも、なんとかオンラインでのイベントを開催する事ができ始め、JCDらしさを取り戻しつつあります。それでも令和2年度は、北陸支部が改めて設立され、これで全国10支部となりました。また日本空間デザイン賞も第二回目を無事開催でき、応募数もあまり減る事なく成功する事ができました。

図らずも、オンラインでの打合せなどが発展した事で、全国支部との距離感が近づき、これからのJCDの在り方を模索する良いきっかけとなりました。

## 2. 各事業の報告

### (1) 事業部（部長：小坂 竜）

（委員長会議議長：大滝道晴）

#### 1. [空間デザイン賞委員会]

○JCD側の集計部会リーダーとして、集計会議、登録チェック会議及び贈賞式等に参加。

\*JCDメンバー欠員あり。

#### 2. [Soda 委員会]

○コアメンバーの一人として、出前授業（小松川第二小）に講師として参加。

○Soda 定例会議出席（Zoom 会議含む）

\*特に、コロナ禍のSoda活動の実施の検討を行いました。

\*有明『SMALL WORLD TOKYO』での、ワークショップは中止。

#### 3. [賛助委員会]

○定例会議出席（Zoom 会議含む）オブザーバー的な立場で参加、羽隅委員長をサポート。

○「プロダクトオブザイヤー2020」の『商店建築』への掲載検討・実施を行う。

○「プロダクトオブザイヤー2020」の『JAPAN SHOP』へのJCDブースとして出店討議、及び実現。

○「プロダクトオブザイヤー2021」の実施スケジュールに関する討議を行う。

\*賛助企業の新製品は4月以降が多くなるため、時期をずらして実施予定。

○賛助企業の全国版冊子の実施における討議及び見積を実施。

① デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

二回目となった「日本空間デザイン賞 2020」は、コロナ禍の影響を大きく受け、タイムスケジュール、審査方法（公開三次審査）、贈賞式等コロナ感染予防対策を最大限考慮した変更を行った。まず緊急事態宣言中に応募受付期間を1カ月延長して6月16日までとした。応募総数は昨年とほぼ横ばいの1,074作品。国内999作品、海外76作品となり海外からの応募がやや減少するにとどまった。

賞のカテゴリーは昨年と同様とし、Aグループ、Bグループ、Cグループの計11カテゴリーで構成されている。

応募期間締切り後、まず7月1日～10日までネットによる一次審査が行われた。一次審査員は各グループ30名計90名の審査員が担当し作品を選出。7月18日の調整会議を経てLong List354作品が選ばれた。その後7月23日～31日までネットの二次審査が行われ34名の審査員で選出、8月8日に調整会議が行われShort List122作品が選ばれた。

2020年はコロナ禍のなかでリアルな三次審査開催が危ぶまれたが、8月26日豊口氏を除く10名の三次審査員にて東京デザインセンターを会場として開催することができた。審査員は総勢11名で五十嵐太郎氏、井上成氏、木田隆子氏、北川一成氏、小坂竜氏、野老朝雄氏、豊口協氏、中村拓志氏、永山祐子氏、山本尚美氏、渡邊康太郎氏、そして審査委員長にDSA鈴木重千代会長、審査副委員長にJCD窪田茂理事長があたり審査の進行を務めた。2020年は会場での審査時間を短くするため、事前に審査員諸氏に採点を行ってもらい、その採点表に基づいて会場で金賞、銀賞、銅賞を決定して行った。公開審査ではあるが会場は関係者のみとし、応募者や会員及び一般にはFacebook Liveでライブ配信を行った。最後にKUKAN OF THE YEARの選出のみは配信を中止し非公開とした。

11月13日東京デザインセンターにおいて金、銀、銅賞の贈賞式、KUKAN OF THE YEARの発表を行い、引き続きKUKAN OF THE YEAR受賞者によるトークイベントを行った。昨年のような受賞パーティーは中止としている。

今年はKUKAN OF THE YEARに3作品が選ばれた。どれも今の時代の新しい空間価値のあり方、環境問題への課題解決などが提案されており、多様化する社会での新しい価値の発掘となった。

2020年2月9～14日の期間GOOD DESIGN Marunouchiにおいて「日本空間デザイン賞 2020展」が開催され、KUKAN OF THE YEARから銅賞までの作品展示、KUKAN OF THE YEAR受賞者によるオンライントークイベントが行われた。

2021年3月9～12日開催のJAPAN SHOPでも同様の受賞作品の展示を行った。

② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

「Soda 委員会ができることは？」5月からリモートで会議を重ね、今年度は資料・素材・ワークショップセット・プログラムの見直しなどの“メンテナンスの年”と位置づけました。そんな折、日本デザイン振興会から「8月にキッズ・ワークショップの開催を決定したが何かできないか」との打診がありました。窪田理事長からも“実施してください”との後押しをいただき急遽委員会をリアルで開催、ワークショップ実施の可否を議論いたしました。

「クラスターを出したら責任が取れない」「どこで感染するかわからない今、開催すべきで

はない」との意見が多く上がり委員会は紛糾。結論は以下のように、対面時間を短縮しワークショップ全体をサイズダウンして実施することを決定いたしました。

- ・定員を半数とし、2日間に分散して実施する。
- ・制作サイズを小さくして時間短縮を図る。
- ・プレゼンテーションを後日オンラインで開催する。
- ・感染対策のマニュアルを策定し徹底する。(感染対策の現場を実際に体験)

#### 1. 東京ミッドタウン・キッズワークショップ 2020

夏休みの子供会、花火大会などの行事がすべて中止となるなかキッズ・ウィーク参加者の募集はあっという間に満席となりました。「対策は十分か?」「子どもたちは本当に来てくれるのか?」これまでにない緊張で迎えた当日、1人2人といつものように笑顔で集まってくる子どもたちと対面すると、委員たちの不安は勇気になりました。子どもたちの屈託のなさがコロナ禍にあることの窮屈さから解放してくれます。飛び入りの3歳の女の子から6年生の男子まで、2日間で16作品が完成。お母さん方からも「何もない夏休みに、ひとつだけ思い出ができました!!」と大変感謝されました。夏休み最後の土曜日、両日合同のプレゼンテーション・講評会をオンラインで開催。6年生に混ざって1年生もしっかりとプレゼンテーション!!物怖じもせず初めてのオンラインを体験いたしました。

#### 2. 11/21(土)日本建築学会子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウムにて活動報告。

「建築学会にワークショップの依頼があった場合、ご協力いただけないか?」との要請がございました。今後、協力関係の構築を図りたいと考えています。

3. 11/23(月・祝)リエゾンセンターにて「わたしのあかりを作ろう!」を開催予定でしたが、直前に東京都の新規感染者数が500人を超えたことから急遽開催の可否を議論、中止を決定いたしました。

4. 12/6, 13, 20(日)の3日間、スモール・ワールドにて「あったらいいな、こんな店」を開催予定でしたが、12月2日の定例委員会で開催の可否を議論。「Soda活動は経済活動ではない。不要不急」「JCDの冠に傷をつけられない」など慎重な意見が多く上がり開催を断念いたしました。

5. 12/19(土)学校からの要望により、小松川第二小学校4年生(4クラス129名)を対象とした出前授業「ぼく、わたしの部屋」を実施。1人1作品を制作するプログラムで、参加講師を絞り10日前から会食の禁止・検温など生活管理を徹底して当日に臨みました。窓を全開にした教室。「ぼくの部屋が進化した!!」子どもたちは元気です。

支部からご報告がございましたが、北海道支部では12月、桑園小学校6年生(約130名)の出前授業を、リモートを利用して開催。沖縄支部では年が開けた2月2(火)浦添工業高等学校(インテリア科62名)にて出前授業を実施。「商業デザイナーの仕事」のレクチャーと照明器具制作の2本立て。Soda活動初となる高等学校でのワークショップとなりました。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言・東京アラート・・・2020年は何もしないことが正義でした。この1年、ワークショップ開催の可否について委員会で大きな議論が起きました。“どちらも正しい”ところが大変悩ましいのですが、決して“不要”な活動はございません。どのようにしたら、何ができるのか?前を向いた議論のもと活動を継続したいと考えています。

③ シンポジウム委員会（委員長：飯島直樹）

コロナ禍で開催が遅れていたシンポジウム委員会は 10/12 第一回、第二回を 10/30、第三回を 2021/1/19 に開催し、以下の事業を企画推進したので報告いたします。本委員会は以下のメンバーで今期スタートしました。

委員長：飯島直樹、副委員長：大原信子、中村茂雄、委員：水谷晶人、木村倫香、ルビオ岩崎敬子、剣持良美、オブザーバー：佐藤未知子

1. JCD 連続シンポジウム SECTION62 開催内容について

：例年ならば 2020 年に開催予定だったがコロナ禍であり 2021 年に延期する。

：2021 年は JCD60 周年でもあり、記念的な SECTION とする。

：次回のテーマを SECTION62「クラマタを語る」とし、日本の空間デザインが大きく進展した時代とそのキーパーソンであった倉俣史朗を取り上げる。2018 の杉本貴志、2019 の内田繁に続く総集編的開催とする。

：60 周年を盛り上げる意味で、4～5 回の連続イベントとしたい。

：facebook、YouTube の活用によるオンライントークを波状的に開催（2021/2, 3, 4, 5, 6 月）ゲストに若い世代に登場してもらい、倉俣を再発見する。

：総集編として 2021/6 月に公開シンポジウムを開催予定（コロナ禍次第）

：結果をファシリテーターによりレポートし、JCD60th 記念誌に記載する。

（2021/11 月予定の 60th 式典で配布）

2. 「クラマタを語る」オンライントークは以下の登壇者で実施する。

01:2/24 鬼木孝一郎、平綿久晃、渡部智宏、米谷ひろし、鈴木紀慶（ファシリテーター）

02:3/26 鈴野浩一、芦沢啓治、二俣公一、長谷川香苗（ファシリテーター）

03:4/19 藤森泰司、倉本仁、寺田尚樹（ファシリテーター）

04:5/21 近藤康夫、中道淳、（ファシリテーター）

05:6 月 公開シンポジウム予定

3. 以上の実行予算について計上した。

4. 60<sup>th</sup> 記念講演、記念誌発行は、それぞれの目的に応じて、60<sup>th</sup> 記念の委員会と共同し別途企画する。

④ 広報委員会（委員長：水谷晶人）

■水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長、大原信子副委員長

1) JCD公式パンフレット2021を発行しました。

2) JCDホームページの刷新のコンセプト・構成の組立を行いました。

3) 「JCD Face bookページ」にてニュース記事、イベントの立ち上げを行う事で JCD会員・JCD賛助会員、そして会員以外の方へも活動状況の発信の実施。

4) 東京デザインセンターの情報誌への記事の提供を行いました。

5) タカハシツキイチの運営及び情報発信。

6) JCD事業のFacebook及びWebページでの発信を行っています。

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度はコロナ禍の影響で、APSDA, イーストギャザリング等全ての活動がストップいたしました。オンラインの各国のアワードに対する告知は、事務局を通じて会員にお知らせいたしておりますが、実際のオンラインの交流はなく、APSDA のオンライン ZOOM に通訳を頼んで参加するのみとなりました。

⑥ 賛助委員会（委員長：羽隅斉明）

1. プロダクトオブザイヤー2020

コロナ禍により受賞商品の発表の場である「SHOKANKYO」の発刊が見送られ、2020 受賞企業の商品については「商店建築」2021 年 1 月号に掲載。予想以上に反響があり、受賞企業の報告では資料請求ホームから問い合わせが多く、掲載効果も大きい状況。

2. ジャパンショップ 2021 への出展

3 月 9 日～12 日開催のジャパンショップにプロダクトオブザイヤーの名目にて出展（東京ビックサイト アトリウムにて 4 小間）。永井副理事長の主催者側との交渉、ご尽力により出展費用、小間代は無償、装飾費用のみとなる。装飾業者はスーパーペンギン様に依頼し、デザイン費協力のもと、参加賛助企業の出展費用は約 900 角のスペースで各社 10 万での出展となる。内訳として 17 社 19 商品を展示。

3. 賛助会員の紹介ガイドブックの作成

今期の定期理事会での議案提示後、再検討となるが本部賛助委員会でも深い議論はできていない為、次年度への継続案件となる。賛助企業の担当者の顔写真を掲載するなど、正会員にとって身近に活用できるガイドブックにしていきたい。

4. IDM との取り組み

IDM ビューイングの内容を検討し、参加する機会は検討中。

令和 2 年 10 月 28 日、レスト × TRANSPARENCY × 灯り計画

【本部賛助員会組織】副委員長：斉藤、藤原 会議時書記：井原、博多（敬称略）

また上記事業計画の実施において、内容毎に分科会を設定。

1. リーダー：山本 メンバー：古川、藤光（2 月 25 日実施、次回 3 月 17 日予定）
2. リーダー：羽隅 メンバー：藤原、本間（12 月及び 1 月に実施）
3. リーダー：品川 メンバー：藤原、本間
4. リーダー：松田 メンバー：棟方 他

⑦ 空間委員会（委員長：新宮和行）

1. JAPAN SHOP 2021 出展について

ご案内の通り 3 月 9 日（火）～12 日（金）の 4 日間で開催しました。

-ニューノーマル時代の魅せるデザインと快適で安心な空間づくり-

と題し、開催 50 回を記念して 2 つの特別展示「JAPAN SHOP+Plus」「NIPPON プレミアムデザイン」を設けました。（日経新聞社情報抜粋）

また今回初となる JCD プロダクトオブザイヤー入賞製品の展示を行いました。

## 2. 年鑑刊行について

- ・ 『年鑑日本の空間デザイン 2021』は、JCD+DSA「空間デザイン賞」合同アワードとして、2度目の年鑑刊行となりました。
- ・ 『年鑑日本の空間デザイン 2021』については、「都市空間の生命化を考える」と題し、生物学者の福岡伸一氏に寄稿を依頼し掲載しました。  
また「9人のデザイナーが語る『ウィズコロナの時代の空間デザイン』」と題し、JCDからは飯島直樹・鬼木孝一郎・笠原絵里子（五十音順敬称略）の掲載をしました。

### ⑧ 交流委員会（委員長：折原美紀）

コロナ禍に於いて、開催が難しくなった女子会をオンラインという形で「世界の今を知ろう。大陸リレー女子会」と題し、2月5日にイギリスロンドン在住の建築ジャーナリスト&コンサルタントの山下めぐみさんによるポストコロナ、グローバリゼーションから思考レベルのローカル性への変化、人権問題、環境問題、私達女性が抱える問題などをお話いただき、3月5日はニューヨークから照明デザイナーの田中みちるさんをゲストに日本からニューヨークへ渡った際の様々な体験談などを語って頂く予定です。オンラインイベントは世界と繋がることが出来るメリットがあります。参加していただいた方々からは、コンパクトな会であり、フランクに語り合える雰囲気から「直接話が出来てよかった。元気になれた。頑張ろうと思った。楽しい会だった」との声をいただいております。今後もシリーズ化していきたいと考えています。アーカイブも「ここでしか話せない話」を大事にしつつもグラフィックデザイナーの倉員香織さんの協力のもとグラフィックレコーディングをして配信し、女子会の大事な要素となっています。

### ⑨ 60周年記念事業実行委員会（委員長：大滝道晴）

#### ■実行委員会開催

- 2020年8月以来、メンバー全員参加による会議を実行委員長として継続開催中。  
\*Zoom会議により、地方の各支部長も含み全員参加。
- 各部会（記念式典・基調講演・記念誌・支部巡回・予算・資金調達・Web/Hp等の部会）を各リーダー、サブリーダー及びメンバーの人選のもとスタートさせ、詳細の検討を行っています。
- 各部会の項目、内容等の検討、スケジュール及び、収支計画を算出し、全予算（支出と収入）を把握。
- 60th 記念事業の告知、及び協賛金の依頼を、窪田委員長を中心に協議、配信を行いました。
- 実行委員長としては、記念式典・基調講演・支部巡回部会の分科会義に参加。  
\*特に、各支部の意見及び、サポート体制を小田氏、中村氏の両会議のもとに把握、検討を行っています、

その他

#### ○開催日の調整

- \*空間デザイン賞贈賞式との絡みがあるので、DSAの小岩井氏と日程調整をはかり、開催日

を検討致しました。(討議の上、開催日は確定致しました)

\*60th 記念事業の概略は別紙参照

## (2) 支部統括部

(部長：永井資久)

### ・オンライン会議開催

支部間オンライン会議化と支部長会議への参加。

小田支部長会議議長に尽力により支部長会議、60周年関連も含めて順調に推移中。

### ① 北海道支部 (支部長：高橋 恵)

今年度の活動方針

「デザインの必要性和ネットワークの大切さをJCDの活動を通して広めていこう」

### ・会員を増やす、他団体との交流を増やす活動を積極的に行っていく」

コロナの関係で昨年2月下旬から活動を休止していました。

総会も中止になりようやく10月に第一回目の運営会議を開催し今年度の活動内容方針を話し合いましたがその後感染者も増加してなかなか思うような活動が出来ない一年でした。そのようななかでもなんとかSODAだけは開催することが出来てよかったですと思っております。

### 【運営会議+懇親会】

【日程】10月21日

SODAの打合せを行い、久しぶりにリアルに顔を合わせての交流となりました。

### 【SODA活動】

12月1日(導入)、12月7日(模型製作)12月14日(プレゼン)

Soda 桑園小学校

今年のSODAは、直前まで北海道は感染者数が多く開催が危ぶまれました。

ただ、今年の6年生は色々な行事が中止になり出来る形で生徒の為にやってほしいと先生からの要望があり下記のように行いました。

1日目 デザインとは? の授業を放送室から各教室に流す

(生徒たちは各教室でテレビの画面を見ている) (45分×2コマ)

2日目 模型制作は 最初模型の説明も zoom で行う予定でしたが中々学校と繋がらず急遽1日目と同じく説明のみ放送室から各教室へ流す。その後、zoom が繋がったので各クラスに1人 zoom のブレイクアートルームを使用して繋げてそこで質問等があれば、生徒の方から画面の方に来てもらって質問等受けるようにしました。

3日目 模型制作が終わらず、プレゼンの予定でしたが1~3 コマ目までは模型制作で2日目と同じプレゼンは、各クラスブレイクアートルーム内で最後の4 コマ目に各クラスごとに行ってもらいました。

いつもデザイナーと生徒と全員で投票して優秀賞を決めるのですが今年は、模型の写真とコンセプトシートをもらってデザイナーの方だけで優秀賞を決め後日メダルを小学校へ届けるという形をとりました。制限がある中での開催でしたが、その中でも子供達が楽しそうに模型を製作していたのが印象的でした。

②東北支部（支部長：大塚真司）

【活動報告】

●東北支部役員・地区長会議

【日程】 4月3日 【場所】 アルコア事務所 【参加人数】 7名

【概要】 前年度の事業報告及び収支報告。

今年度上期の活動自粛、Soda の中止及び支部総会を書面表決にて行う旨を決定。

9月頃からの活動再始動を目標とした。

●東北支部ホームページリニューアル

【日程】 6月1日

【概要】 JCD 東北支部ホームページをリニューアル。Facebook を開設。

東北支部の活動状況、正会員の作品写真などを掲載。

●東北支部総会（書面表決）の実施

【日程】 6月10日 【表決提出】 24名（正会員41名）

【概要】 過半数の賛成により、すべての議案が可決されました。

●定例理事会報告会

【日程】 12月10日 【場所】 仙台市内 【参加人数】 20名

（概要）11月14日開催の定例理事会の内容報告。

今年度の Soda 活動、空間デザイン賞展示会の中止を決定。

●日本空間デザイン賞 2020 受賞作品鑑賞会

【日程】 1月12日 【場所】 オリバー仙台支店ショールーム 【参加人数】 3名

【概要】 DSA 主催により受賞作品を ppt にて投影、鑑賞。

③関東支部（支部長：小田秀樹）

\* 今期は各委員会活動の広報を充実させ、委員会活動を活発にして参加者を増やす。

（新藤力副支部長、品川正之副支部長）

■研究セミナー：委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

1) 上期の事業はコロナ禍の為、事業計画を中止した。

2) とくトークを10月23日 Zoom 開催：パネラーは河崎隆雄氏にて「河崎隆雄の手仕事」

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長、  
本間克典副委員長

1) 原則月1回の委員会を開催し、正会員・賛助会員相互の向上のため意見交換を行なった。

2) 8月21日に恒例の熱海船上花火見物会を正会員と賛助会員相互の親睦のために開催した。参加者は14名と少なかったが花火と親睦を十分堪能していただいた。

3) 10月17日恒例のBBQ会を五反田「ジョニーの原価酒場」にて開催。

4) 11月18日恒例のボーリング会を開催した。

5) とくトークと共催のノレンカイ（ショールーム見学）はコロナ禍で延期。代替え案として  
ユーチューブに関東支部のれん会を立ち上げた。現在2社がUPしている。

6) 6月、7月、8月、9月、の定例は本部賛助委員会と同日に行い意見交換を行った。

7) 今年度はコロナ禍の影響で各イベントは感染防止に留意し規模を縮小して開催した。



■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

- 1)機関誌の発行は年3回、各20ページ立て4c印刷900部発行
- 2)一回目(7月末発行)総会特集・プロダクトアワード・SODA委員会報告・支部クラブ活動報告・新人会員の紹介・賛助委員会活動予定・賛助会員広告など
- 3)二回目 夏/秋号(12月中発行)・とくトーク・会員の近況報告・SODA委員会報告・支部クラブ活動報告・賛助会員活動報告・新人会員紹介・賛助会員広告など
- 4)三回目 冬/春号(3月中発行予定)・とくトーク・会員の近況・新人会員紹介・SODA委員会報告・賛助会員広告など

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

- 1) 昨年に引き続き「JCD関東支部ホームページ」の調整。即時性を意識した情報更新。正会員のHP掲載数を増加。
- 2) 「JCD関東支部ホームページ」と「JCD関東支部のFace book」のリンクを強化。
- 3) 「JCD関東支部 Face book」のイベント立ち上げを行う事でイベント参加への誘導を計る。
- 4) 「JCD関東支部 Face book」にとくトークなど関東支部の活動内容及び情報のアーカイブとしての機能を持たせた。
- 5) 賛助会員企業の建材・素材・技術を採用した「施工例」ページを新設。

■交流委員会：折原美紀委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦副委員長

- 1) 恒例の冬のパーティーもコロナ感染の影響により、開催できませんでした。ただし、初の試みとして、10月18日に全国支部とオンラインで繋がっての交流会を実施。数十名と交流し、ブレイクルームを利用し小さなグループ内でリアル交流に近い雰囲気を出せたと思う。

■特別委員会：星明臣委員長、木村倫香副委員長

- 1) 恒例の研修旅行を、3月28日～29日で計画しておりましたが、緊急事態宣言が延長され、バーチャルでの可能性も検討しましたが、知識や技術整わず、中止のやむなきを得ました。「まいったなー2020」でしたが、新しい知恵を試されることにもなりました。

④北陸支部(支部長：木村嘉秀)

コロナの影響でほとんど活動が出来ませんでしたが、来期に向けて準備を進めています。

【支部会議開催】

○第1回支部会議

日時：2020年8月28日(金) 18:00～19:00 場所：RAILSIDETABLE

参加者：木村 種昂 荒井 伊藤 法澤 三井 6名

※内容は前回の理事会にて共有

○第2回支部会議

日時：2020年11月13日(金) 18:00～19:00 場所：くいもの屋わん金沢駅前店

参加者：木村 荒井 三井 戸井 小津 増山 6名

デザインフォーラム・正会員・賛助会員募集の情報共有 来期の活動の方向性

金沢での会員拡大の方法等

○第1回運営委員長会議

日 時：2021年3月4日（木） 19：00～ 開催予定 場 所：支部事務局

参加者：木村 荒井 三井 種昂 法澤

来期運営計画の話し合い予定

【正会員・賛助会員状況】

正会員 株式会社ナカダ 中田氏が今期をもって退会 会員数 20名→19名

※現在 1名候補者あり デザインフォーラムに参加を打診中 勧誘します。

賛助会員 田辺商事株式会社様 支部賛助になってもらいました。

大光電機北陸支店 内諾済 現在書類待ち

【活動報告】

○SDA、DSA 合同企画 第22回空間デザインフォーラム 2021年3月27日（土）

金沢学生のまち交流館にて開催予定

（当初1月30日の予定だったがコロナため延期）

※コロナ対策を十分行ったうえでリアル開催+オンライン公開を検討中

JCD 招待のパネラーとして我らが副理事長の A. N. D. の小坂竜氏にお願いしてあります。

⑤中部支部（支部長：鳥居佳則）

4・5月 支部会議中止

6月 上層部にてリアル会議（2名）

・支部総会について

7月 支部会議中止

8月 支部会議 zoomにて開催（8名）

・支部総会について

9月 支部会議 zoomにて開催（9名）

・支部総会、支部アワードについて

・中部支部 SODA 事業について（中止に決定）

10月 支部総会 zoomにて開催（27名）

・事業報告及び事業計画の発表

・参加者全員近況報告

11月 支部アワード募集開始

本部会議に zoomにて出席

理事会リアル出席

12月 支部アワード審査会延期

1月 支部アワード審査会開催（リアル審査：4名）

2月 支部アワード受賞者様に賞状郵送（10作品分）

3月 支部アワード贈賞式開催検討

本部理事会 zoomにて出席予定

⑥ 関西支部（支部長：中村裕輔）

コロナ渦により各イベントが中止になる中、7月から月一の合同委員会を再開。

新しい形のイベントを模索しながら9月から見切り発車の活動を開始。

USD-0 大阪デザイン団体連合との取り組み

- ・USD-0 大阪デザイン団体連合を中心とした大阪万博への取り組み
- ・2021年開催の40周年事業の協議

9月2日 支部集会

今年度体制・方針の報告、賛助会員PR会の開催

参加者 (Zoom) : 44名 PR会参加 : 13社

10月10日 「デザイン新常态」USD-0 主催デザインカンファレンス

オンラインセミナー

各デザイン団体 (JID, DSA, パーステック協会, JCD) による団体紹介と

「今後のデザインの方向性」のトークセッション

会場 : 24名 オンライン : 150名 の参加

10月10日 関西学生シンポジウム「持続可能なデザイン」作品発表会

各団体から審査員・コメンテーターを選出

8大学の参加 最優秀賞 : 大阪モード学園 (JCD 推薦)

11月21日 オータムセミナー「これからのクリエイターのワークスタイル」

新しいライフスタイルを実践する奈良在住の藤井崇司さんにスポットをあて自然と生活、生活とデザインのこれからのあり方を模索。

参加者 (Zoom) : 214名

12月16日 クリスマスイベント「諸人こぞりて」ニューノーマルってなんやねん？

3部構成「リモートをデザインする」「賛助会員新商品PR会」「デザインの現場から」

参加者 (Zoom) : 30名

1月12日 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式

スイスホテルにてリアル授賞式を開催。

JCD賞 : アトリエスイッチ一級建築事務所が受賞。

1月30日 「これからのデザイン」USD-0 主催デザインカンファレンス

オンラインセミナー

DSA/JCD/JIDA/JID/JPA/SDA 「これからのデザインについて」のトークセッション。

2月20日 修成建設専門学校 教育課程編成委員会 (卒計審査) への参加

#### ⑦ 中国支部 (支部長 : 藤坂浩匡)

令和2年度の中国支部は「デザインの追求と若手会員の増強・支部内の活性化」を活動方針としスタートしました。本年度は新型コロナウイルスの影響で100%の活動が出来ませんでした。その中でもzoom併用での「例会」、と県の施設で許可を頂き「広島デザインデイズ」を開催することが出来ました。ただ、zoom会議や懇親会の中止や縮小では十分な親睦や交流が出来ていないので「支部内の活性化」については、やり残したことが多くあると感じています。また正会員の増強も十分できませんでした。いつも当たり前とっていた事が出来ない不安や不便さを考えさせられる一年でした。

【令和2年度事業内容】

● 組織改革・・・支部賛助会員の増強（3社）

● 例会活動

- 4月25日 2年度支部総会 コロナ禍のため書面にて開催  
5月25日 2年度定時総会 委任状にて参加  
6月26日 第1回中国支部例会：岡山開催  
CENTRAL FOREST(セントラルフォレスト) Herb【ハーブ】  
8月21日 第2回中国支部例会（ZOOM併用）：ライティングコア広島にて開催  
※ ミニセミナー：カリモク家具様による「カリモク家具の取り組み」  
10月23日 第3回中国支部例会（ZOOM併用）：福山開催 セとうち料理 春秋  
※ ミニセミナー：福井厨房様による「kitchenについて」  
11月21・22日 広島デザインデイズ 2020（ZOOM併用）：  
イノベーションハブ広島にて開催  
12月11日 第4回中国支部例会（ZOOM併用）：岡山開催 THE MAGRITTE  
※ミニセミナー：リビエラ様による「タイルトレンド・新商品紹介」  
2月12日 第5回ウッドワンショールーム見学と中国支部例会（ZOOM併用）：  
広島開催 ウッドワン  
※ミニセミナー：大光電気様による  
「新商品の案内と施工事例からみる照明効果」

● 地域活動として11月21・22日に広島デザインデイズ 2020を開催

支部事業である、「広島デザインデイズ」は地元との交流、広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校などと、デザインを中心とした地元根付いた交流の場となる事業。コロナ禍のため人数制限とZOOM併用で開催。

※ 学生デザインリーグ・Camps コンペ・支部アワード・セミナー、その他

- 7月9日 広島デザインデイズ 2020 第1回準備委員会 (広島)  
8月21日 広島デザインデイズ 2020 第2回準備委員会 (広島)  
10月7日 広島デザインデイズ 2020 第3回準備委員会 (広島)  
11月6日 広島デザインデイズ 2020 第4回準備委員会 (広島)  
11月21・22日 広島デザインデイズ 2020 開催 (広島)

⑧ 四国支部（支部長：日下大祐）

今年度は時勢により計画していたイベントを含めて活動がほぼ中止になり、4団体（JCD、SDA、JIA、香川県デザイン協会）合同イベント SHIKOKU デザインフュージョンが新しい試みとして「新しいデザインの時代に」「コロナ禍をのりこえて」テーマに限られた人数にて収録してYouTube配信にて無事開催できたことが今後にもつながると思います。

6月、支部例会 中止

定時総会リモート出席

7月、ENDO ショールームバスツアー 中止

SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート

HPにて発信

8月、支部例会 LIXIL セミナー中止

SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート

HPにて発信

- 9 月、SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート  
IPにて発信
- 10 月、支部例会 中止  
SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート  
IPにて発信
- 11 月、SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート  
IPにて発信
- 12 月、支部例会 中止  
SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート  
IPにて発信
- 1 月、賀詞交歓会リモート参加  
SHIKOKU デザインフュージョン実行委員会リモート  
IPにて発信
- 2 月、SHIKOKU デザインフュージョン開催  
IPにて発信
- 3 月、支部委員長会開催予定  
臨時理事会報告、次年度予定報告
- 4 月 支部例会予定

⑨ 九州支部（支部長：深町俊彦）

(1)業務委員会

○月例会の開催（毎月第三金曜日/大光電機会議室 or ZOOM 使用）

コロナ禍の中、毎月開催の月例会ですが、例年通り賛助会員にも参加いただき、ZOOM にて開催しました。

運営会議の冒頭に商品 PR や企業セミナーなどを行いました。

何度かはリアルにて開催を試みましたが、例年終了後に懇親会を行います、自粛しました。

○SODA 活動の開催

コロナ禍の中、開催はできませんでした。

九州支部は NPO 法人 FDL(福岡市を中心とした、デザインを活用した地域振興を主として目的とした各デザイン団体、個人で構成)で開催しているデザインスクールキャラバンの今後の取り組み等の協議継続中です。

○FUKUOKA デザインリーグ運営会議の参加

FUKUOKA デザインリーグの団体会員として運営会議に参加し、これからの取り組みや今後のあり方などについて意見交換をしました。

リーグも法人化をして 13 年となり、JCD との今後の関わり方など支部内で検討中です。

○日本空間デザイン賞・パネル展

福岡市美術館にて開催しました。2020.12.15（月）～12.20（日）

日本空間デザイン賞になり初めての開催でした。

DSA と調整後、SDA との共同開催で初めて九州の 3 団体での開催でした。

## (2) 交流委員会

### ○各種セミナー参加

賛助会員の各種イベントやセミナー（主に ZOOM 開催）に参加しました。

### ○忘年会・新年会の開催

コロナ禍により全て中止となりました。

## (3) 広報委員会

○支部ホームページや Facebook・Instagram を運営しています。ホームページは新しく更新し、スマートフォン対応の閲覧しやすいものになりました。JCD の知名度拡大や会員増強のためにも、SNS 発信を積極的に行っていますが、まだまだ運営方法など模索中です。

### <総評>

従来より開催している、支部独自のデザインスクールキャラバンは一昨年より中止しています。支部ならではの手法で、児童との関わりや学校及び社会との繋がりを持つ取組として、早期の再開を目指し模索中ですが、コロナ禍で新たな取り組みのアプローチが難しい一年でした。

その他の交流活動は毎月、例会の ZOOM 開催が定例化してきましたので、参加者も増やし、良いコミュニティの場なるように、今後も継続して行いたいと思います。

広報活動の SNS 運営などは、まだまだ検討改善部分が沢山ありますが、ホームページはスマホ対応で投稿もしやすくなりました。

また、JCD-kyushu のフェースブックのページの充実を図っていきます。

しかし、コロナ禍の中で、正会員・賛助会員の連携、コミュニケーションを図ることに苦慮した一年でした。

会員数は思う様に増えていませんが、60周年記念事業の取り組みの協議会を行っていて、九州らしさを皆で共有していく流れが出来つつあるように思われます。

コロナ禍の中で、正会員・賛助会員の連携、コミュニケーションを図ることに苦慮した一年でしたが、毎月の協議会の参加者は確実に増えていきますので、今後を期待をしています。

## ⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

R 2 年 4 月 ◇支部定例会の開催 → 中止。

5 月 ◇インテリア産業協会主催の懇親会 → 中止。

◇定例理事会・定時総会 → 不参加。

6 月 ◇支部定例会の開催

各委員会報告

8 月 ◇「JCD CREATERS BEACH BBQ 2020」 → 中止。

9 月 ◇支部定例会の開催

各委員会報告

1 1 月 ◇支部長会議・定例理事会へ出席。

1 2 月 ◇支部定例会の開催

◇懇親会の開催

◇支部長会議（ZOOM）出席。

2 月 ◇SODA開催 浦添工業高校3年生 ≒60名

◇支部定例会の開催

3月 ◇定例理事会

<総 評>

コロナの影響で 何も出来ない一年となりましたが、SODA ワークショップについては、初めて 高校生（インテリア科）を対象に開催する事が出来ました。

引き続き、年2校開催を目標に取り組んで参ります。

夏頃にはコロナ終息が見えてくるのか不透明ですが、JCD を知ってもらい 正会員入会に繋がるようなイベントの開催、業界発展の一助となれるような活動を 引き続き行っていきたいと思います。

**(3) 総務部**（部長：太細 通）

① 財務委員会（委員長：太細 通）

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では正会員が約41万円、約2.6%の増収、賛助会員は全国が約45万円減収、支部はほぼ変わらず、賛助合計で約3%の減収、正会員と合わせて約3万円、約0.1%の減収となりました。また事業収入は、コロナ禍のために軒並み予定した事業の開催ができず、設計事業奨励事業のDSAと統合しました2回目の日本空間デザイン賞の応募料が、昨年度とほぼ同額の1,311万円が変わりませんでした。他の事業との合計では約977万円、約40%の大幅な減少になりました。またコロナ禍の給付金やテナント紹介等で雑収入が約338万円あり、事業活動収入は全合計で4,836万円と昨年度から約694万円減、約12.6%の減、予算に対しても12.3%減に抑えることができました。

事業活動支出合計の事業費支出では、設計奨励費がDSAと統合した日本空間デザイン賞の2回目の開催でしたがコロナ禍で贈賞式の簡素化を図り昨年度に比べ116万円、約12%減に抑えることができ、他の事業も大幅にオンライン活用等で簡素化をはかり、事業費合計は887万円、約29%減でした。また管理費支出では、理事会等オンライン活用により旅費交通費が大幅に減になり、結果事業費と管理費を合わせた事業活動支出合計は昨年度決算額より1,065万円、約24%減、予算に対しては約1,695万円減の約3,363万円となりました。

以上より、収支差額は前年度決算額より約371万円増となり約1,473万円もの大幅な黒字を確保できました。

本部及び10支部を個別にみますと、本部と9支部は黒字を確保できました。関西支部がコロナ禍で予定していた展示会が開催できず約3万円の赤字でしたが繰越収支差額で十分カバーできています。本部、10支部とも次期繰越収支差額に余裕がありますので、本協会の社会的地位の向上や会員獲得に役立つ活動への活用をよろしくお願いいたします。

一般社団法人への移行8年度目になりますが、全体的に非常に良い結果となりました。

② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

各支部長等より、功労賞候補会員の推薦を受け、メール等で委員間の意見交換・検討を重ね、以下の候補会員を理事会に推挙いたします。

1) JCD 特別功労賞候補者として、以下の 3 支部から 3 名の会員の推薦があり、委員会は承認。

① 関東支部 鹿目 久美子 会員

② 中部支部 西川 せいじ 会員

③ 全国賛助会員 大光電機株式会社 (代表取締役社長 前芝 辰二氏)

※全国賛助会員 大光電機株式会社様は 2004 年度に続き 2 回目の贈賞。

2) 支部賛助会員は該当者なし

3) 名誉会員として、関西支部 野村武彦会員を委員会は承認。

建設事業関係功労者表彰 (「国交省大臣表彰」と略)

昨年度は、深田 勝哉会員 (前理事/中国支部長) が大臣表彰の栄に浴しました。

令和 3 年度は、笠原 英里子会員 (理事/デザイン賞委員長) を推挙・申請しております。

「国交省大臣表彰」については、候補者申請を継続していきます。

### 3. その他会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会 (1 回)

令和 2 年度定時総会

期日：令和 2 年 6 月 30 日 会場：東京デザインセンター 5F

社員出席：264 (内委任状 60、議決権行使 191) 名

理事会 (2 回)

第 1 回定例理事会 (コロナ禍のため中止)

第 2 回定例理事会 期日：令和 2 年 11 月 14 日 会場：東京デザインセンター 8F

出席理事：23 名

第 1 回臨時理事会 期日：令和 3 年 3 月 13 日 会場：東京デザインセンター 5F

出席理事：22 名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構 ((公社) 日本サインデザイン協会、(一社) 日本空間デザイン協会、(一社) 日本ディスプレイ業団体連合会と共同) において、活動に担当を派遣した。また、Merci Media 「スカイデザインアワード 2020」、メッセフランクフルトジャパン 「インテリアライフスタイル 2021」、BC ウッド 「カナダ世界リゾート地の舞台裏 ワインツーリズム・グリーンシーズン・MICE&木造建築」、TSO International 「Café Wellness Week」等への後援や、日本ショッピングセンター協会 「第 45 回日本ショッピングセンター全国大会」、メッセフランクフルト ジャパン 「インテリア ライフスタイル 2020」、日本能率協会 「Japan Home & Building Show 2021」、中部広告制作協会 「ビジネスデザイン EXPO」等への協賛、ライティングオブジェ 2020 への協力を行った。



#### 4. 会員の移動状況

	令和元年度期末	年度内増	年度内減	令和2年度期末
正会員	438名	19名	28名	429名
賛助会員	200社	24社	16社	208社
名誉会員	7名	1名	0名	8名

#### 5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の28名である。

・退会申し出による者 24名

（北海道支部）加藤敦彦、成田稔己

（関東支部）石井一彦、兼城祐作、釧持祐介、小林陽子、齋藤玲子、佐藤弘美、鈴木篤志、  
田丸美恵子、根本正夫

（北陸支部）中田正人

（中部支部）遠藤 博、深江章一

（関西支部）太田裕美子、小川芳輝、栄 隆志、辻村保計、友田みのり、野村武彦、益田裕紀

（九州支部）川北 功、佐藤竜二、永田雅一

・死亡による者 1名

（北海道支部）間宮 明雄

・会費未納による者 3名

（関東支部）大野香代子、笠井三笠、

（関西支部）川崎善広